

背景・課題

本地域のねぎ栽培は近年急速に拡大しており、機械化も進みつつあるが、作業負担の一層の軽減が課題になっている。先進技術の活用により省力化を図るとともに、環境負荷低減対策も組み入れ、地域における環境にやさしい農業への意識を高めていく。

成果目標と達成状況

- 自動操舵トラクターを活用した耕起溝切同時施肥機による作業工程の削減
- ドローン農薬散布による省力化
- IPMの実施による化学合成農薬成分の低減

取組の成果

- 自動操舵トラクターを活用した耕起溝切同時施肥機により、作業工程の削減と2列同時作業が可能となり、作業時間を67%短縮した。
- ドローンを活用した農薬散布により、防除作業時間を97%短縮した。
- 従来のローテーション防除と比べて化学合成農薬の成分を、発生予測を用いたべと病予防では4成分低減、発生調査を用いたネギアザミウマ予防では1成分低減した。

①自動操舵トラクター+耕起溝切同時施肥機



●自動操舵トラクターの活用により、自動で正確な作業を実現。溝切・施肥の作業を2列同時に行うことで作業時間を67%短縮。

②ドローンによる防除



●ドローンの活用により、防除作業時間を97%短縮。



湯沢市

構成員

生産者（JAこまちねぎ部会）、JAこまち、湯沢市、雄勝地域振興局農林部農業振興普及課

品目

ねぎ

栽培マニュアル・産地戦略

雄勝ICT協議会の取り組みについて
| 美の国あきたネット



<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/71316>

普及に向けた取組

- 栽培体系マニュアルに基づき、各技術の普及に向けて啓発を行った。
- べと病の発生予測については、農研機構メッシュ農業気象データの活用法を試行し、生産者へのタイムリーな情報提供のあり方を検討した。
- 自動操舵トラクター、ドローンについては、導入コスト面から現状の体系との置き換えには至っておらず、当該機械を所有する法人等への作業委託の可能性について検討する必要がある。

問い合わせ先

秋田県雄勝地域振興局農林部農業振興普及課
TEL：0183-73-5180